

<建物>

少し趣向の違うレポートです。ステイ先の近所に建設中の建物があり、面白そうだったので家族に色々聞いてみました。

場所によりけりですが、マチャラでは300万円ほどで2階建ての一軒家が購入できるそうです。何年か前は40万円で同じ条件だったそうでエクアドルの経済発展がここに垣間見えますね。建設費を徹底的に抑えるために旧式の方法で家を建てるのが海岸地域での主流だそうです。首都のキトやエクアドル最大の都市グアヤキルでは最新の方法でマンションや高層ビルを建てるのですが、マチャラでそのような需要はあまり無いので、大都市に比べ安価で屋持ちになれるそうです。

建設では機材の使い方が日本と大きく異なります。屋根を作り空間をしきるために竹が使われます。この竹が1本6ドルほどで200本から300本くらい1フロアをつくるために使われます。外から見てみると天井が落ちて来ないのかとか気になりますが大丈夫なんだとか・・・。

僕は新しい家が棚上げされたら餅まきをするのが日本の習慣だと思っていました。どうやら日本全国で行われる祝い事ではないらしいのですが、実際はどうなのでしょう。エクアドルではお餅こそ投げませんが、お菓子屋やおもちやを投げて幸運を呼ぶそうです。時代の流れか今はあまり見かけないそうですが、近所付き合いのために日本でもエクアドルでも廃れさせて欲しくない習慣です。



最近左から右の様になりました。コンクリートが乾くまでに時間がかかるそうです。ですが日中は滅多に雨が降らないので、乾きやすい土地だと聞きました。



町中での建設は、作業スペースがすごく狭そうです。一見すごく危なっかしいですが、コスト面でやはり一番主流なのがこの建設方法だそうです。足場も竹で組む？のでやっぱりケガは多いそうです。

< Dengue Fever >

水泳の大会期間中、実は意識が朦朧としていました。高地にいたので高山病だと思い、あまり心配していませんでした。しかし、どうやら見当違いでした。症状は頭痛、目の痛み、発熱、倦怠感、関節痛で、大会で選手にマッサージをして疲れ、さらに高山病が重なったと思っていたのです。

いつもと違う場所に行く機会があり、そこで異常な数の蚊に刺された思い出があります。医者診断ではその場所で患ったのだろうというのが見解でした。そう、カカオ農園です。農園では蚊が大量に放されている箱の中に入り込んでしまったと、そう思う瞬間が少なくありませんでした。

遠征から帰ると体が安心したのか、1週間寝込みました。関節痛がなかなかとれず、よく眠れなかったことも病気が長引いた原因になるでしょう。なぜか顔がアンパンマンのようになったのは生活リズムの乱れのせいにしておきます。

エクアドルに来て病気は初めてではないので、気落ちこそしませんが、仕事に支障が出る分心配になります。休むことがいかに大切か、選手に教えながら自分も学んでいるのでした。

同期の水泳隊員とクエンカで撮影しました。同時期に一つの国へ水泳隊員が3人派遣されるといふ珍しい出会いをした僕たちです。それぞれ異なる任地で働き、それぞれの職務を全うしながらエクアドル生活を楽しんでいます。とても心強い同僚達です。この写真の中の僕はすでに Dengue Fever で苦しんでいたため、体力を振り絞った笑顔です。

